

## 政策4 大洗の未来を担う

### 施策と目指す姿

施策4-1

#### 幼児期の教育・保育の推進

幼児期の教育・子育て環境の充実したまちづくり

施策4-2

#### 知・徳・体が調和した特色ある教育の推進

社会を生き抜く力をもち心身ともに元気いっぱいすこやかな子どもたちの育成

施策4-3

#### 学校・家庭・地域の連携と協働による 安心して学べる環境の整備

学校施設の整備及び保護者や地域との連携・協働による児童生徒にとって安心・安全な教育環境の充実

施策4-4

#### 生涯学習活動の推進

社会教育活動の推進とスポーツ推進事業の充実  
芸術文化の振興

施策4-5

#### 歴史資源の保存と活用

郷土に存在する歴史資源を調査・保存し未来に継承  
郷土教育や観光資源として活用する意義を住民で共有

# 人財を育てるまちづくり

## まちづくり目標値 [KGI]

現状（令和2年） → 目標（令和6年）

## SDGs の目標

### ①町内の保育環境に対する満足度

44.3% → 50.0%

### ②子育て世帯への支援体制の充実に対する満足度

65.1% → 70.0%

### ③大洗町で、今後も子育てをしていきたいと思う方の割合

62.7% → 90.0%



### ①学校が楽しいと感じる児童生徒の割合

小学校 96.5%(令和元年度) → 97.0%

中学校 81.1%(令和元年度) → 85.0%

### ②夢や目標に向かって努力している児童生徒の割合

小学校 88.0%(令和元年度) → 90.0%

中学校 77.2%(令和元年度) → 80.0%



### ①安心して子どもを育てられる環境が整っていると思う保護者の割合

89.0% → 90.0%

### ②既存組織の再編による学校運営協議会の設置

4校 → 4校



### ①社会教育の推進に対する住民満足度

21.2% → 42.0%

### ②成人の週1日以上スポーツ実施率

45.4% → 55.0%

### ③芸術文化の振興に対する住民満足度

19.6% → 40.0%



### ①磯浜古墳群の国指定数量

3基(日下ヶ塚・車塚・姫塚古墳)

→ 4基(+坊主山古墳)



施策4-1

# 幼児期の教育・保育の推進

## 目指す姿

幼児期の教育・子育て環境の充実したまちづくり

## まちづくり 目標値 [KGI]

町内の保育環境に対する満足度  
44.3% ⇒ 50.0%  
(資料:子ども・子育て支援事業計画策定に係るアンケート調査結果より)

子育て世帯への支援体制の充実に対する満足度  
65.1% ⇒ 70.0% (資料:同上)

大洗町で、今後も子育てをしていきたいと思う方の割合  
62.7% ⇒ 90.0%  
(資料:健やか親子21(第2次)の基礎課題調査より)

施策	重点取り組み指標 [KPI]	現状値 (令和2)	目標値 (令和6)
4-1-1	保育所等の待機児童数	0人	0人(現状維持)
4-1-4	産後、退院してからの1か月程度、助産師や保健師等からの指導ケアを十分に受けることができた方の割合	88%	95%
	子どもに対して育てにくさを感じている方のうち、相談先を知っているなど何らかの解決方法を知っている方の割合	71%	90%
4-1-5	ひとり親世帯への相談会の開催	新規設定	3回/年
	小児医療費自己負担	無料	無料(現状維持)

## 施策分野における課題

- ▷ 多様なニーズに対応した保育環境の充実に取り組む一方で、少子化により児童が減少していることを見据え、今後の保育環境整備の在り方について検討する必要があります。
- ▷ より一層の保幼小連携推進のために幼稚園教員と保育所保育士、小学校教員との相互研修や情報交換の場の充実を図っていくことが必要です。
- ▷ 学童保育入所希望者における待機児童への対応、支援員の確保、発達に課題を抱えた児童への対応が課題となっています。
- ▷ 子育てに不安を覚え、戸惑う親や家族が増えていることや、発達に課題を抱える子どもや外国にルーツを持つ子どもなど、多様化する支援ニーズへの対応が課題となっています。
- ▷ ひとり親世帯においては、住居、収入、子どもの養育等の面で様々な困難に直面している方々への対応が課題となっています。
- ▷ 児童相談所や市町村への児童虐待に関する相談件数は、年々増加しており、関係機関との連携強化や子ども家庭総合支援拠点(※右頁)の設置などの体制づくりが必要です。
- ▷ 本町独自の小児医療費自己負担の無料化等、制度の維持と安定的な運営が必要です。

## 施策の内容ごとの取り組みと方向性

### 4-1-1 保育環境の充実 【重点】

- ▷ 生活様式の多様化や働き方改革等により保育ニーズが多様化するなかで、延長保育事業等の環境整備を推進します。
- ▷ 保育の質の確保をするため、より良い保育環境の整備を図るとともに、少子化を見据えた、今後の保育環境の在り方についても検討を図ります。

### 4-1-2 保幼小連携による幼児期の教育の質の向上

- ▷ 幼稚園教員と保育所保育士、小学校教員との相互研修等の場の充実を図るとともに、遊びの中で育まれる学びの充実や地域の方々との交流を通し、社会体験や園外保育を中心とした自然体験の充実など、幼児期の教育の質の向上を図ります。

### 4-1-3 学童保育内容の充実

- ▷ 民間学童保育施設と連携を図りながら、「待機児童ゼロ」を維持します。
- ▷ 支援員の確保を図るとともに、発達に課題を抱えた児童に対して、専門知識を兼ね備えた専門支援員の配置を目指します。

### 4-1-4 切れ目のない親と子への健康支援 【重点】

- ▷ 大洗町子育て包括支援センター「ほっと」を拠点に、保育所・幼稚園、地域、病院、関係機関等と連携し、妊娠期から支援を必要とする親子に寄り添い、問題の早期発見・早期対応できる支援体制を推進します。

### 4-1-5 子育て世帯への支援体制の充実 【重点】

- ▷ ひとり親世帯への相談体制の充実を図ります。
- ▷ 「親子ふれあいセンターきらきら」を拠点として、関係団体と連携し、親同士の情報交換の場を提供するなど、子育ての不安解消と虐待防止を図ります。
- ▷ 引き続き県の医療福祉制度により、小児・妊産婦・ひとり親への医療費自己負担の助成を実施するほか、本町独自の小児医療費・自己負担無料化の制度の維持を図ります。

### 4-1-6 児童虐待防止の推進

- ▷ 児童虐待防止に関する支援のための専門的知識を普及し、支援体制の充実を図ります。
- ▷ 子ども家庭総合支援拠点(※)の設置を図ります。



#### Topics 学童保育

放課後において仕事などによる保護者不在家庭への支援や児童の安全確保と健全育成を図るため、公設学童2か所、民間学童施設2か所において、遊びや集団生活の場を提供する学童保育を実施しています。

※子ども家庭総合支援拠点

児童福祉法 10 条の 2 に基づき、子どもとその家庭、妊産婦等を対象として、地域の実情の把握、相談対応、調査、継続的支援等を行う施設。

## 施策4-2

# 知・徳・体が調和した特色ある教育の推進

## 目指す姿

社会を生き抜く力を持ち  
心身ともに元気いっぱいすこやかな子どもたちの育成

## まちづくり 目標値 [KGI]

学校が楽しいと感じる児童生徒の割合

小学校 96.5%(令和元年度) ⇒ 97.0%  
中学校 81.1%(令和元年度) ⇒ 85.0%  
(資料:全国学力学習状況調査より)

夢や目標に向かって努力している児童生徒の割合

小学校 88.0%(令和元年度) ⇒ 90.0%  
中学校 77.2%(令和元年度) ⇒ 80.0% (資料:同上)

施策	重点取り組み指標 [KPI]	現状値 (令和2)	目標値 (令和6)
4-2-2	全国学力・学習状況調査標準化得点	全国平均 以下	全国平均 以上
	小学校で年間 50 冊, 中学校で年間 30 冊以上本を読む 児童生徒の割合	小 82.4% 中 5.1%	小 85.0% 中 10.0%
4-2-5	大洗町郷土テキスト「大洗道」スタンプラリー達成率	新規設定	50.0%

## 施策分野における課題

- ▷ 地域・家庭の教育力の低下が全国的に課題となっているなかで、本町においても地域資源を活用しながら多様な主体との連携を図る必要があります。
- ▷ 特別な支援を要する子どもを含め、誰もが一人ひとりに応じた学習機会を得られる体制の充実を図る必要があります。
- ▷ 運動機会の減少による体力・運動能力の低下が課題となっています。
- ▷ 生活習慣・食習慣の乱れを改善し健康の保持・増進を図る必要があります。
- ▷ 小学校から中学校に上がるタイミングの「中一ギャップ」が課題となっており、解消に向けて小小・小中・中中の連携体制の充実を図る必要があります。
- ▷ 職業体験・商業体験等のキャリア教育を通して、子どもたちが将来の夢や目標を持てるような事業の展開を図る必要があります。
- ▷ 英語教育やICT機器を活用した新しい学習スタイルの実現により、次代で活躍できる人材の育成を図る必要があります。

## 施策の内容ごとの取り組みと方向性

### 4-2-1 豊かな人間性を培う教育の推進

- ▷ 多様な体験や学習機会、道徳・人権教育の充実、体験活動・読書活動の推進を図ります。
- ▷ 「あいさつ・朝食の摂取・読書・お手伝い」の実践や各種団体との連携を通して、子どもたちの豊かな心の育成を図ります。

### 4-2-2 確かな学力を身につける教育の推進 【重点】

- ▷ 確かな学力を身につける教育の推進に向けて、家庭学習や読書習慣の定着を図ります。
- ▷ 保幼小中の連携により、各段階間を接続する教育活動と、計画的な学びの体制の充実を図ります。
- ▷ 特別支援教育を推進します。

### 4-2-3 健やかな心と体を育む教育の推進

- ▷ 学校保健や薬物乱用防止教室等を実施するとともに、学校給食を通して食育を推進することで、健康の保持・増進を図ります。
- ▷ 遊びを通じた体力づくりや学校体育、運動部活動の充実により、体力の向上を図ります。

### 4-2-4 小中連携教育の推進

- ▷ 義務教育の9年間を連続した期間として捉え、一貫した指導のもと、生活・学習指導上の課題の改善に取り組み、自ら考え、判断し、解決していく大洗っ子の育成を図ります。
- ▷ 学校相互間での授業参観や、合同研修会を通して、小小・小中・中中の連携を図ります。

### 4-2-5 社会の変化に対応した教育の推進 【重点】

- ▷ キャリア教育や英語教育、ICT機器を活用した新しい学習スタイルの実現に向け、人材の確保や機器の整備を推進します。
- ▷ ふるさと大洗の歴史や風土などに関する教育の充実を図ります。

## Topics 大洗サイエンスカレッジ



身の回りの不思議な科学現象を取り上げ、その謎を子どもが自ら予想・実験・考察する放課後科学教室です。

わくわくする不思議な科学現象を、自らの考えで探求しようとする子どもの姿勢を大切に育成することで、未来社会で求められる“主体性”と“問題解決能力”という「生きる力」を培うことをねらいとしています。

## 施策4-3

# 学校・家庭・地域の連携と協働による 安心して学べる環境の整備

### 目指す姿

学校施設の整備及び保護者や地域との連携・協働による  
児童生徒にとって安心・安全な教育環境の充実

### まちづくり 目標値 [KGI]

安心して子どもを育てられる環境が整っていると思う保護者の割合

89.0% ⇒ 90.0%

既存組織の再編による学校運営協議会の設置

4校 ⇒ 4校

施策	重点取り組み指標 [KPI]	現状値 (令和2)	目標値 (令和6)
4-3-4	不登校出現率	小:0.74% 中:3.32%	小:0.67% 中:2.99% (10%減少)
	いじめの解消率	100.0%	100.0% (現状維持)
4-3-5	端末を自宅学習に活用した児童生徒の割合	0%	100.0%

### 施策分野における課題

- ▷ 家庭・地域と学校が連携した教育の実施に向け、啓発等を通じた地域の意識醸成や担い手となる人材の確保が課題となっています。
- ▷ 信頼される学校づくりを推進するために、教職員の資質・能力を向上させる必要があります。
- ▷ 義務教育9年間で繋ぐ指導を継続するために環境の維持が必要です。
- ▷ 学校が避難場所としてより安心できる場所として利活用できるように引き続き関係各所と連携していく必要があります。
- ▷ 多様化・複雑化する不安や悩みに対応するため、教育相談体制を充実・強化する必要があります。
- ▷ 新しい生活様式に即して、すべての子どもたちへの学習の保障とともに、経済的な理由により就学に困難を抱えている子どもに対する適切な援助が必要となっています。

## 施策の内容ごとの取り組みと方向性

### 4-3-1 学校・家庭・地域との連携・協働

【重点】

- ▷ 地域の団体や人材を講師として学校に招き、地域資源を活かした大洗らしい教育を推進します。
- ▷ 学校公開の実施や学校ホームページ、学校だよりでの広報等を通して、開かれた学校づくりを推進します。
- ▷ 非行防止や青少年の地域活動の支援等、地域における青少年の健全育成活動を推進します。

### 4-3-2 信頼・尊敬される教員の育成

- ▷ 教職員の研修の充実、子どもと向き合う環境づくりを推進し、教職員の資質・能力の向上を図ります。

### 4-3-3 学習環境の整備と学校組織運営の改善

- ▷ 学校の全体構想を作成し、活力のある学校づくりを目指します。
- ▷ 地域のコミュニティシンボルとしての活用や校舎内のオープンスペースを活用するとともに、避難場所としての対策も関係各所と連携を図ります。

### 4-3-4 いじめ・不登校等への対策と安全確保

【重点】

- ▷ いじめの未然防止、早期発見、早期対応、再発防止に向けた組織的な取り組みを推進します。
- ▷ 家庭及び関係機関と連携し、一人ひとりの状況に応じたきめ細かい支援と、自らの進路を主体的に捉えて社会的に自立する力が身に付くような支援や働きかけを実施します。

### 4-3-5 すべての子どもたちへの学習機会の確保

【重点】

- ▷ 就学に係る援助の充実、学校図書・教材の整備を推進します。
- ▷ 一人一台端末の利活用を推進します。

## Topics タブレットを活用した授業



子どもたち一人ひとりが自分の学習状況に応じてタブレットを「文具」として必要な時に必要なだけ使いながら主体的に学習を進めていく学びと、課題解決に向けた対話的・協働的な学び合いによる新しい学びのスタイルを構築し、誰一人取り残すことなく、子どもたち一人ひとりが自分の力を最大限に発揮し伸ばしていく質の高い学びの実現を目指します。

施策4-4

# 生涯学習活動の推進

## 目指す姿

社会教育活動の推進とスポーツ推進事業の充実  
芸術文化の振興

## まちづくり 目標値 [KGI]

社会教育の推進に対する住民満足度

21.2% ⇒ 42.0% (資料:大洗町のまちづくりに関する町民意向調査)

成人の週1日以上スポーツ実施率

45.4% ⇒ 55.0%

(資料:「大洗町における生涯スポーツに関するデータ」茨城県スポーツ推進課より)

芸術文化の振興に対する住民満足度

19.6% ⇒ 40.0% (資料:大洗町のまちづくりに関する町民意向調査)

施策	重点取り組み指標 [KPI]	現状値 (令和2)	目標値 (令和6)
4-4-1	公民館講座受講者数	144人/年	250人/年
4-4-2	家庭教育に関する講演会への参加者	46人/年 (令和元年度)	60人/年
4-4-3	スポーツイベントの年間参加者数	4,000人 /年	4,500人 /年
4-4-4	プロスポーツチームとの交流イベント数	毎年度開催	3回/年
4-4-5	老若男女が堪能できる演目を企画する	2回/年	4回/年
4-4-6	体験講座等を開催し,文化団体への新規加入を促す	新規設定	毎年度開催

## 施策分野における課題

- ▷ 多様化する学習ニーズに応えるため、幅広い学習活動を支援する必要があります。
- ▷ ICT を活用したコミュニケーションについて検討する必要があります。
- ▷ ライフスタイルの変化により、地域や家庭の教育力低下が課題となっています。
- ▷ 情報技術の浸透により、インターネットを介した問題に青少年が巻き込まれることが増えています。
- ▷ 大洗マラソンサンビーチ・マイルレースをはじめとする町主催のスポーツイベントへの参加者の更なる増加を図るうえで、運営の効率化が課題となっています。
- ▷ 子どもを対象としたスポーツ大会は参加者数が減少しており、子どもたちへの指導を的確に行う指導者の確保や、子どもがスポーツへの興味・関心を持つきっかけづくりが課題となっています。
- ▷ 町内各種スポーツ団体について、認知度向上・会員数の拡大や、持続的な運営が課題となっています。
- ▷ 町主催の芸術文化イベントとあわせ、高次高質な芸術文化公演の誘致開催に取り組むなど、住民が多様な芸術文化に触れる機会を創出することが求められています。
- ▷ 芸術文化協会会員数は減少傾向にあり、更には高齢化が進んでいるため、関係団体の活性化や担い手の育成・新規会員の確保が必要となっています。

## Topics 北海道洋上体験学習



洋上体験による共同生活や団体行動の中で、他人を思いやる心や自主性、社会性を養い、また、北海道の大自然にふれ、そこに根付く伝統や文化を直接感じることで、自然を愛する心や豊かな人間性を育み、青少年の健全育成を図ることを目的に実施しています。

高校生会も積極的に事業に参加し、将来の大洗を担う人材の育成にも寄与しています。

施策の内容ごとの取り組みと方向性	
4-4-1	<p><b>社会教育の推進</b> <span style="float: right;">【重点】</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▷ 公民館講座等を継続的に開催することで、学習機会・交流機会の充実を図ります。</li> <li>▷ 住民による自主的な生涯学習活動を行うグループ等の活動支援を実施します。</li> </ul>
4-4-2	<p><b>青少年の健全育成</b> <span style="float: right;">【重点】</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▷ 学校・地域・家庭が連携して情報を共有しながら青少年の健全育成を図るための、仕組みづくりを推進します。</li> <li>▷ 教育の出発点である、家庭教育の支援を推進します。</li> <li>▷ 青少年がインターネット上の問題に巻き込まれることが無いよう、啓発を図ります。</li> <li>▷ 情報社会やグローバル化を見据え、ICTを活用するなど、次世代を担う青少年の育成を図ります。</li> </ul>
4-4-3	<p><b>スポーツ・レクリエーション活動の推進</b> <span style="float: right;">【重点】</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▷ 住民のスポーツ実施率の向上を図るため、町主催のスポーツ大会の更なる参加者増を目指し、イベントの効率的な運営の在り方について検討を図ります。</li> </ul>
4-4-4	<p><b>指導者・団体の育成、強化</b> <span style="float: right;">【重点】</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▷ 各種スポーツ関係団体と連携を図り、町内のスポーツ振興や指導者の育成・発掘を目指します。</li> <li>▷ 町内のイベントにおいてプロのスポーツ選手の招致等、子どもが憧れをもってスポーツを好きになれるような取り組みを実施します。</li> </ul>
4-4-5	<p><b>芸術文化活動の充実</b> <span style="float: right;">【重点】</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▷ 町の自主事業として幅広い年齢層を対象とする「大洗音楽祭」、子どもたちを対象とする「芸術鑑賞の集い」を毎年1回ずつ開催しており、今後も継続的な開催を図ります。</li> <li>▷ プロによる有料公演等も含め、多様なレベルの高い芸術に触れる機会の確保を目指します。</li> </ul>
4-4-6	<p><b>文化団体の活動の推進・支援</b> <span style="float: right;">【重点】</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▷ 本町の文化関係の催しを担っている芸術文化協会会員の確保を図るため、作品展示の機会を充実することによって活動意欲を高めるとともに、体験講座の実施など、幅広い年齢層の方が文化活動への興味・関心を持てるような場の創出を図ります。</li> </ul>

## Topics 大洗マラソンサンビーチ・マイルレース



青少年の健全育成並びに幅広い年代の参加による、地域スポーツの振興を目的とし、大洗サンビーチの景観と環境を活かした、大洗ならではのマラソン大会『大洗マラソンサンビーチ・マイルレース』を開催しています。

種目 15 部門に分けて、0.5 マイル、1マイル、2マイル、3マイルと幼児から高年者までサンビーチの心地よい潮風を受けながら完走を目指します。

## Topics 大洗音楽祭



町主催の音楽祭として、町内小学校金管バンド部・中学校吹奏楽部・高等学校マーチングバンド部・声楽・磯節など子どもから大人までが一堂に会し、多様なジャンルの音楽に触れ合える場となっています。

子どもたちにとっては未来への憧れと希望を抱く機会となり、出演者にとっては研鑽を積んでいる途中での励みになっています。

施策4-5

# 歴史資源の保存と活用

## 目指す姿

郷土に存在する歴史資源を調査・保存し未来に継承  
郷土教育や観光資源として活用する意義を住民で共有

## まちづくり

磯浜古墳群の国指定数量

### 目標値

[K G I]

3基 (日下ヶ塚・車塚・姫塚古墳) ⇒ 4基 (+坊主山古墳)

施策	重点取り組み指標 [KPI]	現状値 (令和2)	目標値 (令和6)
4-5-1	史跡磯浜古墳群保存活用計画の策定	未策定	策定
4-5-2	大洗遺産の認定	1件	2件
	大洗遺産「磯節」の広報	2件/年	4件/年
4-5-4	企画展・特別展入館者数	2,287人 /年 (令和元年度)	2,600人 /年
	博物館入館者数	4,745人 /年	8,000人 /年

## 施策分野における課題

- ▷ 史跡磯浜古墳群については、町の計画が未整備であり、公有化や公園整備などに向けた、史跡保存活用計画の策定が求められています。
- ▷ 大洗遺産については有形・無形の文化財をストーリーとして継承・情報発信するための方策となっていますが、更なる仕組みの有効活用が求められています。
- ▷ 文化財の把握が断片的で、体系的に調査を実施して実態を把握することが求められています。
- ▷ 企画展・特別展を年1回開催していますが、興味関心を持ってもらいやすい展示の実施と博物館を知ってもらう効果的な情報発信が課題となっています。

## 施策の内容ごとの取り組みと方向性

### 4-5-1 史跡磯浜古墳群の整備

【重点】

- ▷ 史跡保存活用計画の策定や文化庁補助金『町内遺跡埋蔵文化財事業』を利用した磯浜古墳群の追加指定、整備に向けた機運の醸成を図ります。
- ▷ サインシステムの整備・マップの作成や情報発信など、案内機能の充実を図ります。

### 4-5-2 大洗遺産の認定

【重点】

- ▷ 有形・無形の文化財をストーリーとして包括化し、町内外への戦略的な情報発信、人材育成、伝承、環境整備等を進めていくために、所有者・各団体や大洗町文化財保護審議会と調整を図りながら、大洗遺産に関する取り組みの推進を図ります。

### 4-5-3 文化財の保護活用

- ▷ 所在する文化財の総体を体系的に理解するため、文化財保存活用地域計画の策定を目指します。
- ▷ 埋蔵文化財について、保護に関する取り組みを進めながら、埋蔵文化財企画展・シンポジウムの実施等、地域資源としての活用を図ります。

### 4-5-4 歴史文化の普及

【重点】

- ▷ 企画展・特別展を継続して実施するとともに、ミュージアムコンサートの開催やホームページ・SNS の活用による情報発信により、認知度の向上と普及活動を推進します。

## Topics 史跡 磯浜古墳群の価値



令和2年3月10日に国の史跡として指定された磯浜古墳群。日下ヶ塚(常陸鏡塚)・車塚・姫塚古墳など、6基の古墳より構成される、3～4世紀代に築造された古墳群です。

中央のヤマト王権との密接な関係を持ち、東国への古墳の波及を考えるうえで重要で、約100年間にその形を変えながら造り続けられる、本町にとって大切な歴史遺産です。